

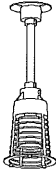
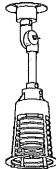


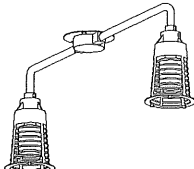


直付吊具	自在形吊具	パイプ吊具	自在形パイプ吊具	チェーン吊具	簡易耐振形吊具	2灯用吊具
MSN406	MSN406A	MPP406	MPP406B	MPC406A	MPV406	MNJ4206
0.7kg	0.8kg	0.9kg	1.0kg	0.7kg	0.9kg	1.7kg
						

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。  
(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

**施工説明** 工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡してください。

安全に関するご注意

⚠警告

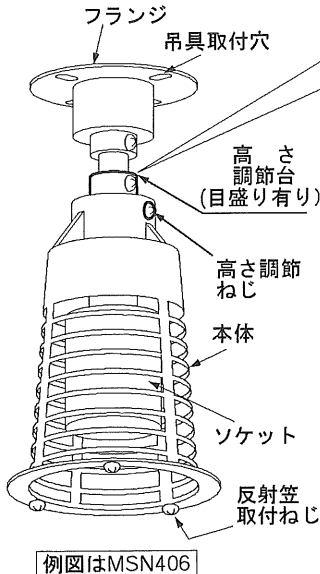
- 取付工事は吊具、反射笠、ランプ質量に耐えるように、「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。取付工事に不備がありますと、火災・感電・落下の原因となります。
- 吊具は、必ず適合する丸型露出ボックスに取り付け、造営材への直付けはしないでください。火災・落下・破損の原因となります。
- 自在形吊具、自在形パイプ吊具以外の吊具は下向専用吊具です。壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 自在形吊具は傾斜天井や壁、自在形パイプ吊具は傾斜天井への取り付けが可能です。使用ランプによっては点灯方向に制限がありますのでご確認のうえご使用ください。ランプの短寿命・不点灯の原因となります。
- 被照射面は高温になります。被照射面との距離を確保してください。火災の原因となります。使用ランプが180Wから400Wまでの場合、被照射面との距離を1m以上確保する  
400Wを越え1000Wまでの場合、被照射面との距離を2m以上確保する
- 交流100V±6%以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 引火する危険のある雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、可燃性粉塵)で使用しないでください。火災の原因となります。
- ランプ及び安定器は必ず指定のものをご使用ください。火災・不点灯の原因となります。
- 安定器の二次側を吊具に接続しないまま、電源を投入しないでください。火災・感電の原因となります。
- 吊具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。

⚠注意

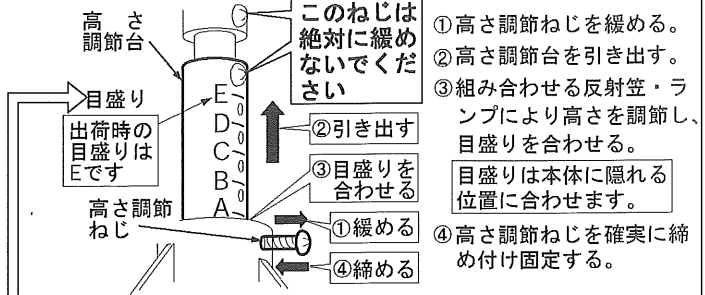
- 屋内専用吊具です。直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所、風などが直接あたる場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 縦振動のある場所では簡易耐振形吊具を使用してください。落下の原因となります。
- 吊具、反射笠の外郭に可燃物などが触れないようにしてください。火災の原因となります。
- 退色を避けたい場所には使用しないでください。被照射面が退色・劣化する場合があります。
- 吊具は乾燥不十分なクロス貼り、コンクリート取付面には取り付けしないでください。火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 吊具、反射笠を密集して取り付けしないでください。火災の原因となります。
- 安定器を密集して取り付けしないでください。火災・騒音の原因となります。
- 周囲温度は5~35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

# 取り付けかた (図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。)

## 吊具の高さ調節 (図1)



\* 適切な配光を得るために、吊具の高さを調節してください。



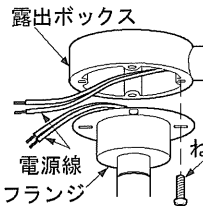
吊具目盛り 反射笠	適合HIDランプ・W数				
	A	B	C	D	E
狭照形反射笠 MK4012 (0.40kg)	270 ~ 500W		180 ~ 250W		
広照形反射笠 MK4011 (0.48kg)			270 ~ 500W		180 ~ 250W
広照形反射笠 MK10011 (0.75kg)		940 ~ 1000W			660 ~ 700W
特広照形反射笠 MK4010 (0.48kg)				270 ~ 500W	180 ~ 250W

- 1、反射笠・ランプ・目盛り組み合わせ表により吊具の高さを調節する。(図1)  
表記した組み合わせ以外での組み合わせ、又は誤った目盛りによる高さ調節は絶対に行わないでください。適切な配光特性が得られません。
  - 2、電源線を接続し、フランジ内のアース端子を使用してD種接地工事を行う。(図2)
  - 3、吊具を確実に取り付けする。(図2)  
必ず適合する丸型露出ボックスに取り付け、造営材(特に可燃性の造営材)への直付けは、絶対にしないでください。  
火災・落下・破損の原因となります。  
●MPV406の場合、適合丸型露出ボックスに注意してください。  
●MSN406A、MPP406B、MPV406の場合、昇降装置との組み合わせは行わないでください。  
●MNJ4206、MPV406の場合、図4、図5の事項を確実に守ってください。
  - 4、吊具に反射笠を確実に取り付けする。(図3)
  - 5、吊具のソケットにランプを確実に取り付けする。  
ランプの取扱についてはランプの取扱説明書にしたがってください。
  - 6、工事完了後、ランプが正常に点灯するか確認する。
- \* 取り付けに不備がありますと火災・感電・落下・破損の原因となります。

## 吊具の取り付け (図2)



必ず適合する丸型露出ボックスに取り付け、造営材(特に可燃性の造営材)への直付けは、絶対にしないでください。



\* 適合丸型露出ボックス

厚鋼電線管用 丸形露出ボックス G16、G22、G28
薄鋼電線管用 丸形露出ボックス C19、C25、C31

\*...MPV406はG28、C31のみに適合。

## 反射笠の取り付け (図3)

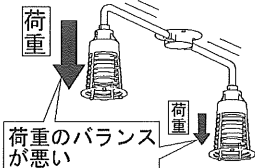


- ① 反射笠取付ねじを少し緩める。
- ② 反射笠取付ねじを反射笠のダルマ穴に通す。
- ③ 反射笠をまわし、反射笠取付ねじを確実に締める。

2灯用の注意事項（図4）

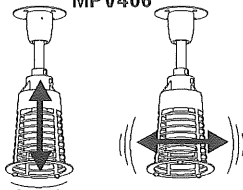
簡易耐振形の注意事項（図5）

MNJ4206



昇降装置と組み合わせる場合は、左右の吊具にかかる荷重は均一となるようにする。荷重が均一でないと落下の原因となります。

MPV406



縦振動

横振動

フランジ内の耐振用スプリングを使用して、縦衝撃を緩和させる簡易耐振形吊具です。工場など、小さな縦振動がある場所におすすめします。

- 1、必ず水平天井に取り付けてください。
- 2、クレーン、ホイストなどに取り付けての使用はできません。
- 3、横方向からの振動、衝撃がある場所には使用できません。
- 4、縦方向でも、急激な振動、衝撃がある場所での使用はできません。

上記を守りご使用ください。誤った使用をしますと、破損し落下の原因となります。

**取扱説明** お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

**安全に関するご注意**

**警告**

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災・感電の原因となります。
- ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。
- 被照射面は高温になります。被照射面との距離を確保してください。火災の原因となります。使用ランプが180Wから400Wまでの場合、被照射面との距離を1m以上確保する。400Wを越え1000Wまでの場合、被照射面との距離を2m以上確保する

**注意**

- 器具を温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや燃えやすいものの近くでは使用しないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、使用する安定器の表示にしたがって指定のランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- ランプが点滅を繰り返したり、正常に点灯しない場合は、ただちに電源を切りランプを交換してください。火災・安定器の破損の原因となります。
- 点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業をしたり、ランプを直視しないでください。高輝度のため目を痛めたり、皮膚炎症の原因となります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが破損して、けがの原因となります。
- 連続点灯でご使用の場合は1日に1回以上は消灯してください。ランプ異常の場合、安定器焼損により火災の原因となります。
- ランプの外管バルブが割れた場合、電源を切りランプを交換してください。紫外線による障害や破損・落下によるけがの原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

# お手入れ・ランプ交換



必ず電源を切ってから行ってください。  
感電・やけどの原因となります。



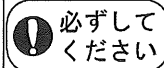
禁止

みがき粉・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水及び洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき、変形、変色、サビの原因となります。

点灯中や消灯直後は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。

ランプは落としたり、ものをぶつかけたり、無理な力を加えないでください。ランプが破損して、けがの原因となります。

植物のそばで使用しないでください。紫外線により、植物の育成障害となることがあります。



必ずしてください

ランプは直接手で触れてはいけないタイプのものがあります。ランプの取扱説明書にしたがい、正しく扱ってください。油脂等が付着したまま点灯しますと光束劣化の原因となります。

ランプがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずしきれいな布にせっけん水を浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

ランプ交換の際には、使用する安定器の表示にしたがって指定のランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。

お手入れなどでランプをはずし、再度取り付ける場合は、ランプを確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、落下してけが・物損の原因となります。

## 仕様

吊具目盛り*1 反射笠	適合HIDランプ*2				
	A	B	C	D	E
狭照形反射笠 MK4012	270~500W		180~250W		
広照形反射笠 MK4011			270~500W		180~250W
広照形反射笠 MK10011		940~1000W			660~700W
特広照形反射笠 MK4010				270~500W	180~250W

- \* 1…吊具目盛りとは裏面の”吊具の高さ調節”で説明しているA~Eまでの目盛りです。吊具目盛りと、反射笠の形式をご確認のうえ正しいワット数のランプと交換してください。
- \* 2…HIDランプとは水銀ランプ、高圧ナトリウムランプ、メタルハライドランプの総称です。同様のワット数でも、ランプの種類によっては配光特性が変わりますので交換されるランプは初期設置時のランプを確認していただき、同じランプに交換することをおすすめします。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のとこに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12  
電話(03)3502-2111